

堺の地車騒動についてのメモ

* 「堺布団太鼓盛衰記」(添付)を基にまとめています。

メモ) 鉄本 2020.11.09

1. 事件発生日時 明治29年(1896)8月1日午後3時頃
2. 発生場所 堺市中之町大道 鈴鹿氏邸宅(以前は河盛仁平氏邸宅)付近
3. 事件の発端 湊組の船地車と北の庖丁鍛冶組の地車とが行違いの鉢合わせとなり互いに道を譲らず対立
4. 状況 双方が棒を振る、礫を投げる、民家の屋根に登って瓦を剥ぎ投げ合う、の大乱闘となった。大乱闘の末、鍛冶組の1人が鈴鹿氏邸にあった真槍を持ち出し港組の2名を殺傷。
5. 結末 警官数十名が出動し、双方の数十名を逮捕
6. 曳行禁止 明治39年(1906)まで地車曳行の禁止
7. 再開 明治40年(1907)菅原神社氏子仲の北開・北浜・並松町と船待神社氏子仲の西湊が地車の代わりにふとん太鼓を新調し奉納
8. 後日談 騒動で亡くなった方は、堺区出島町1丁にある出海山正善寺大日庵に葬られている。鍛冶組の地車は破壊され大浜で焼却、湊組の地車は曳行のないまま堺空襲で焼失。



「堺市史 第8巻」
抜粋